

3 多様なネットワーク環境構築による街づくりへの貢献

“ワークライフ空間” 実現に向け、SDNを活用し
最適なネットワークサービスを提供

NECは「すべての人が快適で効率的、セキュアに活動できる空間＝ワークライフ空間」の実現に取り組んでいる。そのために必要なネットワーク（以下、NW）を、得意とするSDN（Software-Defined Networking）技術を活用して実現し、NWのライフサイクル・マネージメント全体をサービスとして提供していく考えだ。

パラダイムシフトに対応したワーク
ライフ空間を実現していく

COVID-19により、社会の全域がデジタル化され、デジタルが常態である社会へのパラダイムシフトが加速している。NECはこの状況下で求められる利用者価値を3つにまとめた。

1つは「快適」。リモートワークが増え都市から地方へ、オフィスから住宅へとといった分散が起きると同時に、さまざまなサービスや情報が大手クラウドサービスに集約される社会では、本物のような臨場感を伴う超テレプレゼンスなどにより快適に働き、過ごせることが求められる。

2つめは「効率」。工業や農業の自動化、生産物の無人配送などにより地産地消、グローバル分散を目指す社会では、効率化が求められる。

3つめは「セキュア」。さまざまなデバイスや情報がNWでつながり、防疫やIDの重要性が増した社会では、システムやデータの保護が一層重要になる。

同社は3つの価値の実現に向け自社サービスの付加価値拡大に取り組んでいる。またNW・セキュリティ

サービスの提供領域を、これまで中心であった自宅や勤務先に加え、工場など産業領域にも拡大すること、さらには自動化／省力化などの価値提供にも力を入れている。

「付加価値と市場／領域の拡大という2つのベクトルで取り組みを強化し、すべての人が快適で効率的、セキュアに活動できる“ワークライフ空間”を提供していく方針です。」(尹氏)

RAN／LAN／WANを統合・
連携したNWを提供

NECはワークライフ空間の実現に向け、“NEC Smart Connectivity”で提供するNWにより、多様なデ



NEC ネットワークサービスビジネスユニット
デジタルネットワーク事業部長 尹 秀薫氏

バイス／サービス／データの連携を支えていく考えだ。

NEC Smart Connectivityのマルチコネクティビティサービスメニューにはローカル5GやWi-Fi、キャリア

NECのネットワークサービス –NEC Smart Connectivity–

RAN/LAN/WANを一括サービスで提供しライフサイクルマネジメントを実現



図1 企画から運用保守までトータルにサービス提供

RAN(ローカル5G/キャリア5G/WiFi)+LANを連携させたトータルNWサービスを提供
SDNで業務やエンターテイメントで共用するNWの最適制御を実現



図2 ユースケース例：市街地におけるローカル5G + SDN

アLTE / 5Gなどの多様なRANや、LAN / WANが用意されている(図1下)。またNECは世界で初めてSDNコントローラを商用化するなど、SDNの分野で高い技術力と豊富なノウハウを有している。この強みを活かし、各種NWを統合して最適に制御することで、場所、人、モノ、コトに合わせた最適化を自動的に行うNWを実現する。

サービス型のNW提供とライフサイクル・マネージメント

一般に「通信はつながって当たり前」と思われがちであり、事業としてのビジネスモデルをいかに構築するかが重要だ。過去にはSI型、売り切り型のビジネスモデルが多かったが、NEC Smart Connectivityではサービス型への転換を図っている。

「お客さまが利用しやすいようNWを導入だけでなく、運用監視・保守まで我々が請け負って取り組んでいき、ライフサイクル・マネージメントを実現していく。NWのわかりや

すい可視化や、自動化による運用コスト軽減も行っています。」(尹氏)

ローカル5Gについても企画・検証から設計・導入、運用監視・保守まで、ライフサイクル・マネージメントを可能にする各種サービスメニューを用意している。ローカル5G用のNW機器も含め月額料金で利用可能であり、初期投資を抑え運用コストを平準化できることから、お客さまからも好評であるという。

QoS制御やシームレスなNW連携により多様なニーズに対応

ワークライフ空間の実現に向けさまざまなユースケースでのNW提供が想定されている。例として市街地におけるワークライフ空間とNWの関係を図2に示す。

オフィス/商業施設/住居など場所によって、また居住者なのか来訪者なのかといったように利用者の属性によってもニーズが異なり、必要なNWの特性も異なる。たとえばエンターテインメント系のコンテン

ツ配信では高速・広帯域が重要だ。またオフィスワーカーなら社内ではローカル5G、社外ではキャリア5Gをシームレスに切り換えて利用したいといったローミングに対するニーズも考えられる。

NECは得意とするSDN技術でNWの優先制御を行うだけでなく、ローカル5G・Wi-Fi間のローミングにも対応していく予定であり、多様なニーズに対応できる。

各種NWサービスを統合的に提供する分野のリーダーに

今後に向けた抱負を尹氏は次のように述べている。

「ローカル5Gだけでなく、RAN、LAN、WANも含むあらゆるNWをシームレスにEnd to Endで提供できることを強みとします。End to Endの通信品質を保証したNW上で、業種や用途に応じたアプリケーションがしっかり動作するようにし、この分野におけるリーダーとなります。」